



専用ビューワソフト「VSPlayer」 Ver.7

ユーザーマニュアル

UD06784B

ユーザーマニュアル

COPYRIGHT ©2017 GRASPHERE JAPAN Co., Ltd.

ALL RIGHTS RESERVED.

文章、画像、図表を含むすべての情報は、GRASPHERE JAPAN Co., Ltd. またはその子会社（以下、「GRASPHERE JAPAN」とする）の所有するものとします。本ユーザーマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、GRASPHERE JAPAN の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。それ以外規定されていない場合、GRASPHERE JAPAN は、マニュアルに関して、明示または黙示のいかなる保証、保証または表明を行いません。

本マニュアルについて

このマニュアルは、VSPlayer ソフトウェアに適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版は企業 Web サイト (<http://www.graspHERE.com/>) でご確認ください。

プロの指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

免責事項

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。GRASPHERE JAPAN は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて GRASPHERE JAPAN は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、GRASPHERE JAPAN は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

内容

第 1 章 はじめに.....	3
1.1 概要.....	3
1.2 バージョン履歴.....	3
1.3 システム要求.....	4
1.4 コンベンション.....	4
第 2 章 入門.....	5
2.1 ソフトウェアの実行.....	5
2.2 プレーヤーの設定.....	8
2.2.1 基本設定.....	8
2.2.2 キャプチャの設定.....	9
2.2.3 ホットキーの設定.....	10
第 3 章 ビデオファイルの再生.....	12
3.1 ビデオファイルの追加.....	12
3.2 再生コントロール.....	15
3.3 同期再生.....	21
3.4 キャプチャと連続キャプチャ.....	22
3.5 ファイルのクリッピング.....	23
3.6 ファイル形式の変換.....	26
3.7 ファイルの合併.....	28
3.8 メディアストリーミング.....	30
3.9 フィッシュアイ拡張.....	35
3.10 PanuVo モード.....	40

第 1 章 はじめに

1.1 概要

VSPlayer ソフトウェアは、Windows OS 用に設計されたメディアプレーヤーです。ユーザーフレンドリーな GUI により、ソフトウェアはメディアファイルとビデオコントロールを再生するための直感的で便利な方法を提供し、複数のオーディオとビデオフォーマットをサポートします。

1.2 バージョン履歴

V7.4

追加された新機能:

- 複数のビデオファイルをクリップするサポート。
- PanuVo カメラのビデオファイルをオリジナルモードまたは PTZ モードで再生します。
- 暗号化されたビデオファイルを変換する。

V7.3

追加された新機能:

- メディアストリーミング用の RTMP プロトコル。
- HLS プロトコルによってデバイスのライブビデオの表示。
- ディスプレイウィンドウに画像、温度、および火元情報の表示。
- ライブビューのハードウェアデコードをサポートする。
- ビデオファイルを H.265 形式から他の形式に変換。
- デフォルトでビデオの再生を開始すると、VCA 情報は表示されない。

V7.2

追加された新機能:

- フィッシュアイカメラのビデオファイルを再生するためのフィッシュアイ拡張をサポートする。
- 基本設定でタイムスタンプやフレームなどの位置モードを設定できる。
- ローカルのビデオファイル、デバイスのライブビュー、およびデスクトップを同じ LAN 内の他のユーザーと共有するメディアストリーミングをサポートする。

V7.0.0

- DVR、エンコーダ、デコーダ、圧縮カード、ネットワークカメラ、ネットワークスピードドーム

など、さまざまな種類のデバイスのビデオファイルの再生をサポートする。

- 標準 H.264、標準 MPEG4 など、複数のビデオファイル形式をサポートする。
- 1、4、9、16-ウィンドウ分割をサポートする。
- 複数言語の GUI が用意されている。
- 再生中に画像をキャプチャ、連続キャプチャできる。
- ファイル情報を取得できる。
- ファイルクリッピング、ファイルマージ、ファイル変換をサポートする。
- 透かし画像をサポートする。
- デジタルズーム。
- フレームまたは時間ごとに正確に再生ポイントを配置できる。
- 同期再生。
- 逆再生。
- VCA 情報をビデオに表示できる。
- 暗号化ファイルの再生をサポートする。
- 設定された 2 点間を繰り返しできる。
- RTSP の URL モードによるライブビュー。
- 流暢なビデオを提供するためのモーションフローをサポートする。

1.3 システム要求

オペレーティングシステム: Windows 7(32/64 ビット) / Windows 8(32/64 ビット) / Windows 10 (32/64 ビット)


RAM: 2GB 以上

1.4 コンベンション

説明を簡単にするために、以下の章では「VSPlayer ソフトウェア」を「ソフトウェア」と定義します。

第2章 入門

2.1 ソフトウェアの実行

ソフトウェアをインストールしたら、デスクトップ上の  をクリックしてソフトウェアを実行します。ソフトウェアの主なインターフェイスを以下に示します。インターフェイス上のアイコンとボタンの説明については、表 2.1 メインインターフェイスの概要を参照してください。

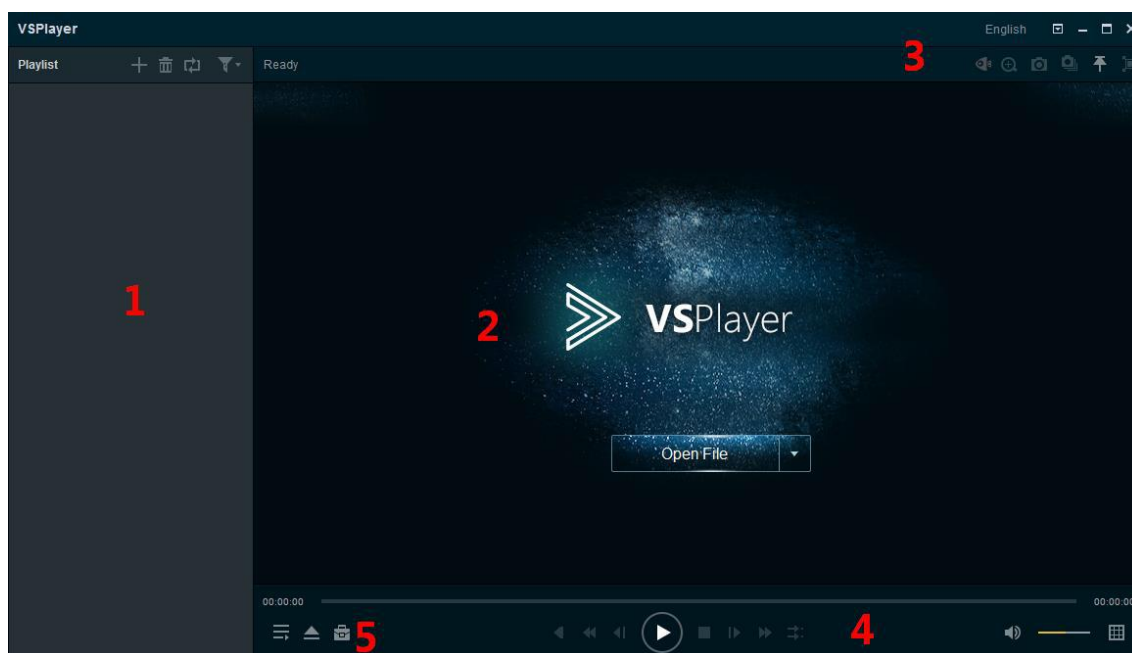






























表 2.1 メインインターフェイスの紹介

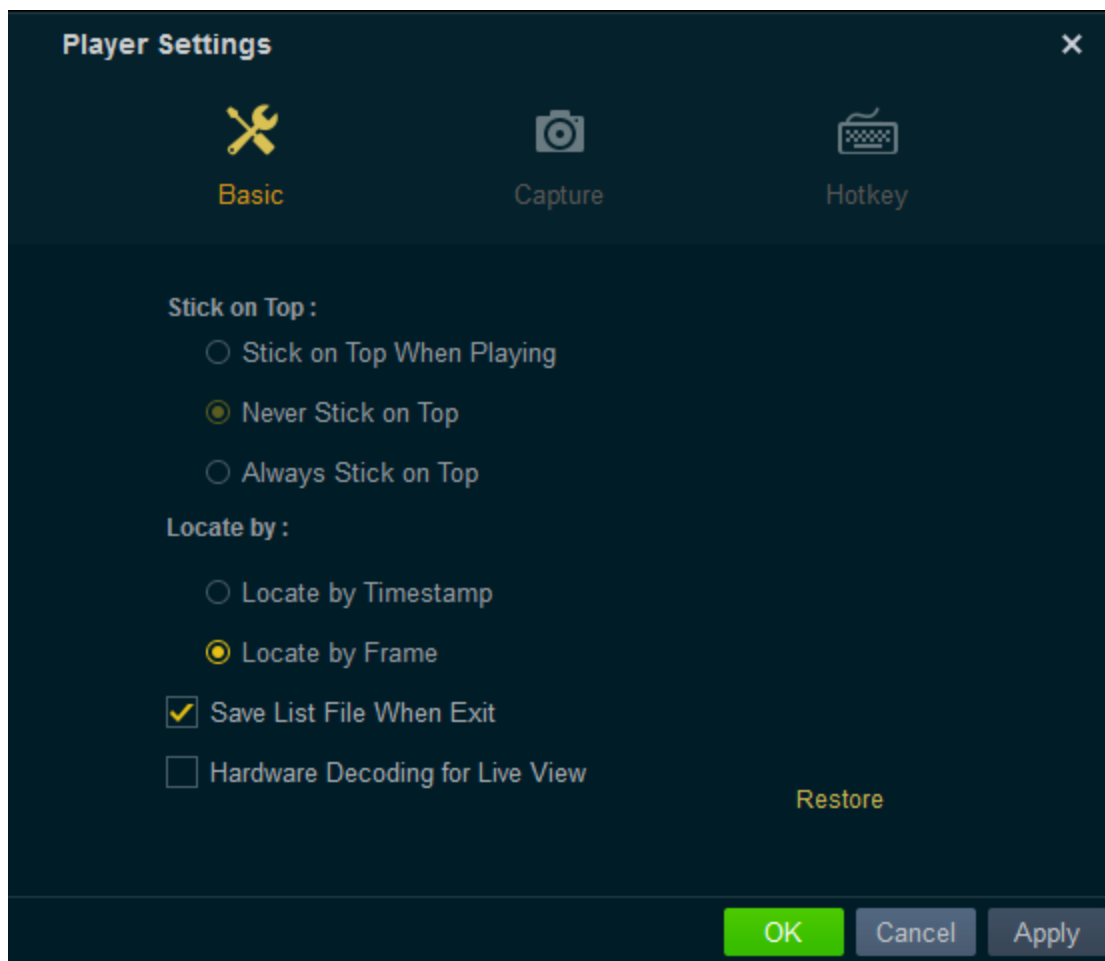
番号	アイコン/ボタン	説明
1		ローカルメディアファイルをソフトウェアに追加します。
		ファイルの再生モードをシングル、リピート順、またはすべてを繰り返す順に選択します。
		ファイル名または正確な時刻でファイルをフィルタリングする場合に選択します。正確な時間によるフィルタリングは、構成された時点のビデオファイルを検索することができます。
2		ウィンドウ領域を表示します。[ファイルを開く]をクリックして、再生するファイルを選択できます。
3		ファイルの選択、言語の設定、プレーヤー設定の設定、ユーザーマニュアルの表示、ソフトウェア情報の

		確認を行います。
		他のすべてのウィンドウの上にウィンドウを保持するかどうかをクリックして選択します。
		ソフトウェアを最小限に抑えます。
		ソフトウェアを最大限に活用します。
		ソフトウェアを終了します。
		PanuVo モードを切り替えます。
		フィッシュアイルレンズの拡張モードに入ります。
		デジタルズームを可能にします。マウスを使用して黄色の四角形を描画し、その中の画像を拡大します。ナビゲーションウィンドウが表示され、黄色の矩形をドラッグしてその位置を調整することができます。アイコンをもう一度クリックすると、デジタルズームが無効になります。 マウスホイールを使用すると、拡大または縮小することができます。
		再生中のビデオのキャプチャ。詳細は、第 3.4 章キャプチャと連続キャプチャを参照してください。
		再生中のビデオの連続キャプチャ。詳細は、第 3.4 章キャプチャと連続キャプチャを参照してください。
4		ビデオを逆再生します。 注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。
		再生速度を 1/2、1/4、1/8、または 1/16 に設定します。 注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。
		フレームごとに逆再生を有効にします。それを 1 回クリックすると、1 つ前のフレームに戻ります。 注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。
		ビデオを再生/一時停止します。
		再生を停止します。

		<p>フレーム単位で再生を有効にします。一度クリックすると、1つのフレームだけ前に進みます。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
		<p>再生速度を 2 倍、4 倍、8 倍または 16 倍に設定します。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
		<p>マルチウィンドウモードで同期再生を開始する。同期再生用のファイルは、時間が重複している必要があります。詳細については、「CHAPTER 3.3 同期再生」を参照してください。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
		<p>オーディオのオン/オフを切り替えます。スライダーバーをドラッグして音量を調整します。キーボードの上または下のキーを押して、音量を増減することもできます。音量を最大 200%まで上げることができます。</p>
		<p>ウィンドウ分割を 1 * 1, 2 * 2, 3 * 3 または 4 * 4 に設定します。ウィンドウを選択し、ビデオファイルをダブルクリックして再生することができます。上記の図をマルチウィンドウ分割で参照してください。</p>
5		再生ウィンドウを全画面モードで表示します。
		URL モードでファイル、ディレクトリまたはライブビューを開きます。
		クリップ、変換、マージ、またはストリーミングのウィンドウをアクティブにします。

2.2 プレーヤーの設定

をクリックして「設定」を選択するか、再生ウィンドウの右クリックメニューで「設定」を選択して、プレーヤー設定のインターフェイスに入ります。プレーヤーの基本、キャプチャ、ホットキーの設定を行うことができます。



2.2.1 基本設定

手順:

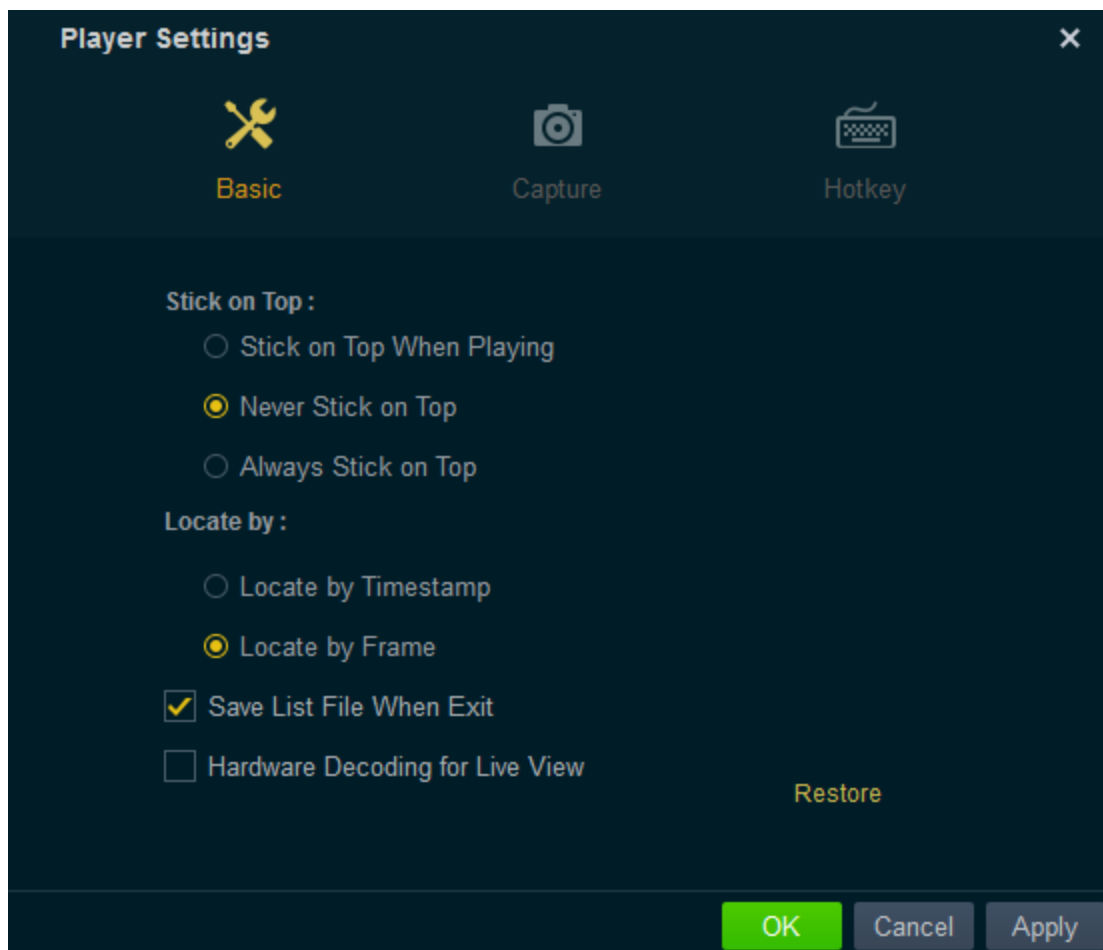
1. **基本設定**をクリックして、「基本設定」インターフェイスに入ります。
2. トップにスティックするオプションを設定します。

プレー中にトップにスティックする: ファイルを再生するときは、他のすべてのウィンドウの上部にウィンドウを置きます。

トップにスティックしない: 常に他のウィンドウの上にウィンドウを置きません。

常にトップにスティックする: 常に他のすべてのウィンドウの上部にウィンドウを保持します。

- 再生中に位置のメソッドを設定します。
タイムスタンプによる:タイムラインをクリックして、タイムスタンプに従って画像を探します。
フレームによる:タイムラインをクリックして、フレームに従って画像を探します。
- 「終了時にリストファイルを保存する」チェックボックスをオンにすると、終了時にプレイリストが保持され、次回にソフトウェアを開くことができます。
- (オプション)「ライブビューのハードウェアデコード」チェックボックスをオンにして、ハードウェアによるライブビューのデコードを有効にします。
デコード性能が向上し、CPU 使用率が低下します。
- 復元**をクリックして、パラメータをデフォルト値にリセットすることもできます。
- 適用**をクリックして設定を適用します。または、**OK** をクリックして設定を保存し、終了します。

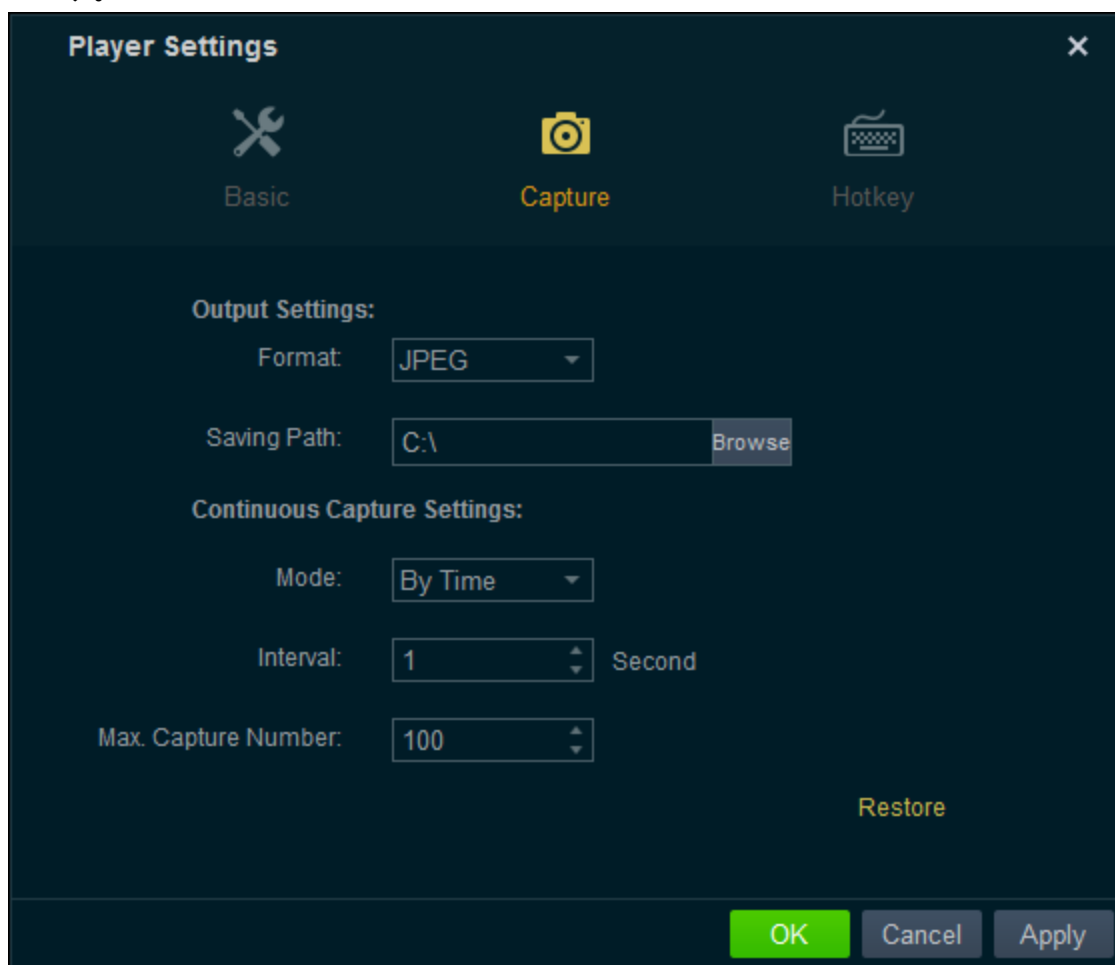


2.2.2 キャプチャの設定

手順:

- キャプチャをクリックして、「キャプチャ設定」インターフェイスに入ります。

2. キャプチャした画像のフォーマットを選択します。
3. **参照**をクリックして、キャプチャした画像の保存パスを設定します。
4. 連続キャプチャを設定します。
モード: 時間/フレームごとにモードを選択します。
インターバル: 時間/フレームインターバルを 1~100 秒/フレームの範囲で設定します。
最大キャプチャ数: 最大キャプチャ数を 1~200 の範囲で設定します。
5. **復元**をクリックして、パラメータをデフォルト値にリセットすることもできます。
6. **適用**をクリックして設定を適用します。または、**OK** をクリックして設定を保存し、終了します。

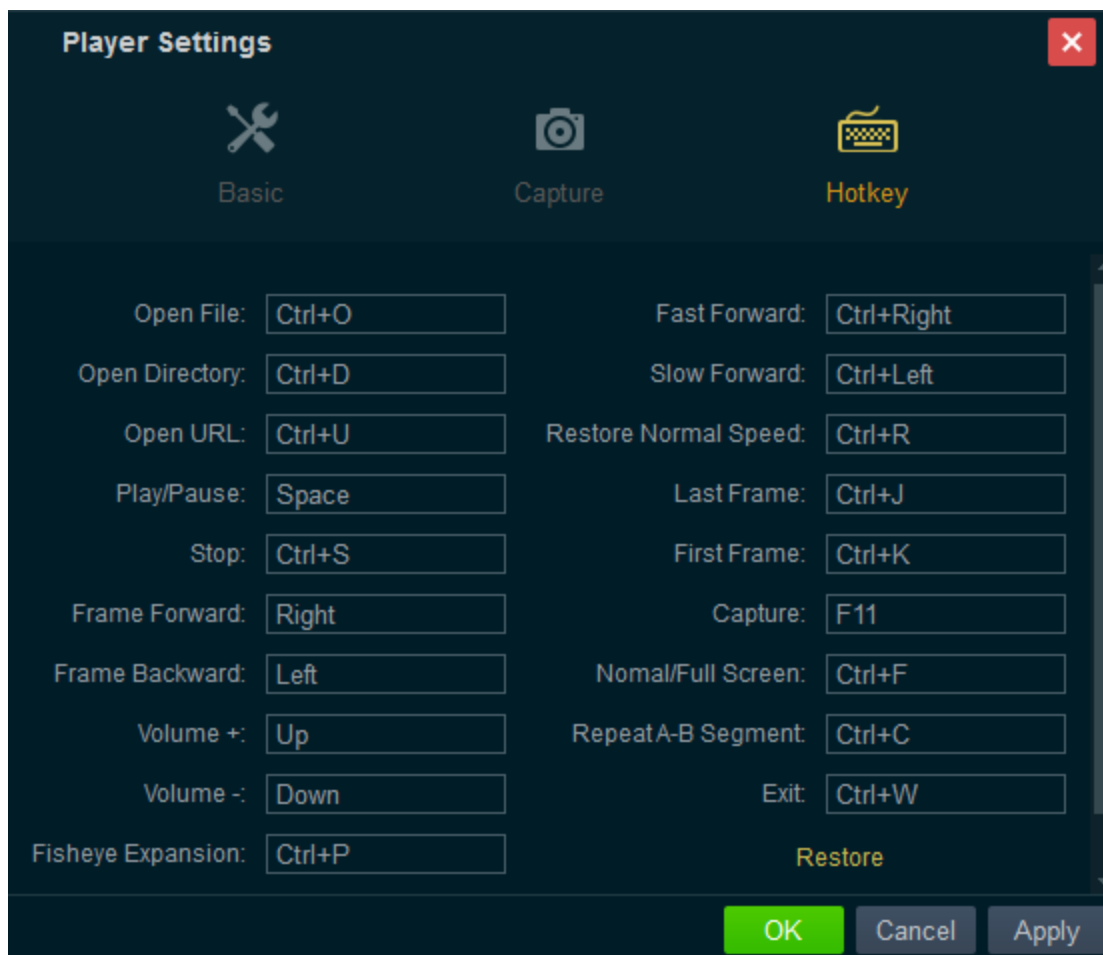


2.2.3 ホットキーの設定

手順:

1. **ホットキー**をクリックして、ホットキー設定のインターフェイスに入ります。
ソフトウェアの共通機能のキーボードホットキーを表示することができます。
2. **テキストフィールド**をクリックすると、必要に応じてホットキーを変更できます。

3. 復元をクリックして、パラメータをデフォルト値にリセットすることもできます。
4. 適用をクリックして設定を適用します。または、OK をクリックして設定を保存し、終了します。



第 3 章 ビデオファイルの再生

3.1 ビデオファイルの追加




このソフトウェアは、ローカルビデオファイルを追加する 2 つの方法を提供します。選択したフォルダのファイルを追加し、ファイルを直接追加することができます。また、URL モードでデバイスのライブビューを開くこともできます。ビデオファイルを追加した後、再生時にビデオのサムネイルを表示できます。

注意:

ビデオファイルが複数のビデオストリームでマージされている場合、追加されたビデオのテーマを表示することはできません。

ファイルの追加

手順:




1. プレイリストエリアで  をクリックするか、または再生ウィンドウで **ファイルを開く** をクリックするか、または  をクリックして「ファイルを開く」を選択するか、または  をクリックして開く下の「ファイルを開く」を選択します。

注意: 再生中のファイルを開くファイルは、ビデオが再生されず、ウィンドウ分割が 1 の場合にのみ使用できます。

2. ポップアップウィンドウで、追加するファイルを選択します。
Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら複数のファイルを選択することもできます。


フォルダの追加



手順:

1. 再生中のウィンドウで「ファイルを開く」の隣にある  をクリックして、「ディレクトリを開く」を選択するか、または  をクリックして、「ディレクトリを開く」を選択するか、または  をクリックし、「開く」の下で「ディレクトリを開く」を選択します。
2. ポップアップウィンドウで、追加するフォルダを選択します。
フォルダの下にあるサポートされているファイルをソフトウェアに追加することができます。

URL モード

手順:

1. 再生中のウィンドウで「ファイルを開く」の隣にある  をクリックし「URL を開く」を選択する

か、または  をクリックして、「URL を開く」を選択するか、または  をクリックし、「開く」の下で「URL を開く」を選択します。

2. ポップアップウィンドウに、ビデオの URL を入力します。

注意: URL モードでは、RTSP および HLS プロトコルのみがサポートされています。

- RTSP プロトコルの場合、

フォーマット: `tsp:// admin:12345@172.10.7.157/Stream/Channels/101。`

admin: カメラのユーザー名。

12345: カメラにログインするためのパスワード。

172.10.7.157: カメラの IP アドレス

101: カメラ 01 のメインストリーム。

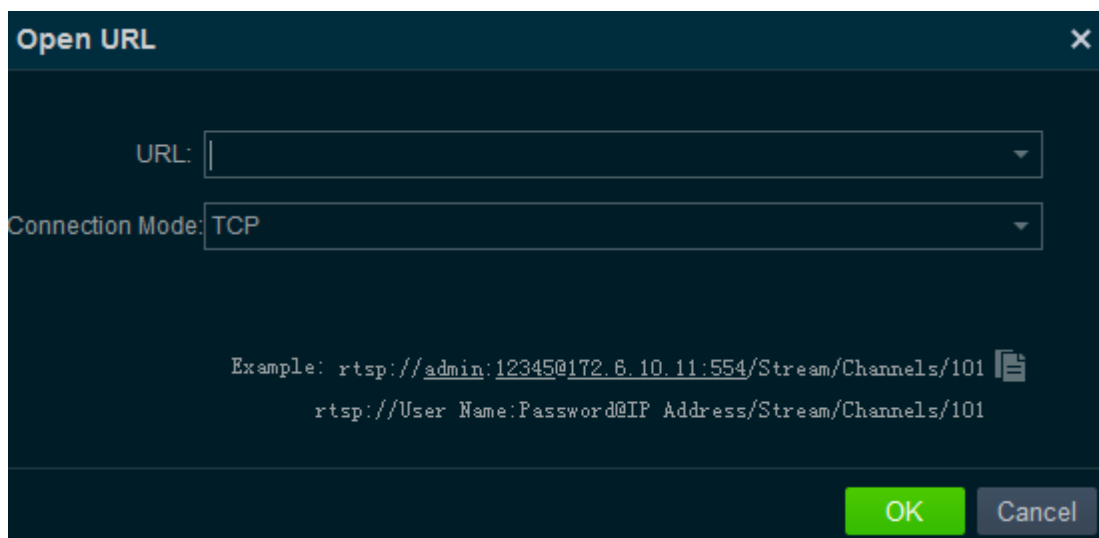
- HLS プロトコルの場合、

フォーマット: `http://10.20.37.12:9086/8ch06la25569d.m3u8。`

ネットワークメディアストリーミングタスクを作成するときに、HLS URL を生成できます。

詳細は、第 3.8 章メディアストリーミングを参照してください。

実際のニーズに応じて接続モードを選択する必要があります。



プレイリスト内のファイルを右クリックすると、右クリックメニューで以下の項目が利用できます。詳しくは、プレイリスト説明の表 3.1 の右クリックメニューを参照してください。

注意: 右クリックメニューは、ファイルの種類によって異なります。

表 3.1 プレイリストの右クリックメニュー説明

名称	説明
再生/一時停止	ファイルを再生/一時停止します。
ファイルを削除する	選択したファイルをソフトウェアから削除します。
無効なファイルを削除する	プレイリストのすべての無効なファイルを削除します。無

	効なファイルには「無効」とマークされます。
プレイリストをクリアする	プレイリストのすべてのファイルを削除します。
ファイルの場所	ファイルのフォルダを開きます。
キーを入力する	暗号化されたファイルのキーを入力します。

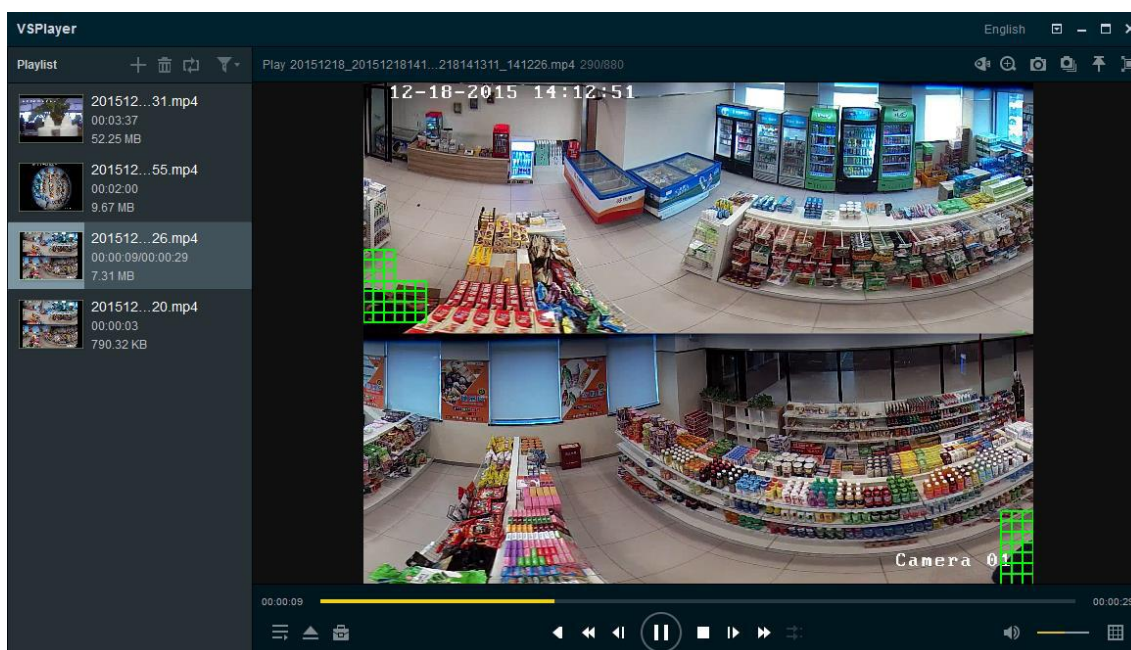
3.2 再生コントロール

ビデオファイルをプレイリストに追加した後、ファイルを再生して関連する機能を実行してビデオの再生を制御できます。

プレイリストパネルに正常に追加されたファイルリストが表示され、ファイルを表示ウィンドウにドラッグするか、ダブルクリックして再生することができます。




注意:











- 暗号化されたファイルの場合は、再生するためにそのキーをポップアップウィンドウに入力する必要があります。
- 名前が 256 文字未満のメディアファイルのみ再生できます。







提供されたアイコンをクリックすると、ビデオの再生を制御できます。詳細は、表 3.2 を参照してください。

表 3.2 再生コントロール

アイコン	説明
	ファイルの再生モードをシングル、オーダー、リピート、またはすべてを繰り返すように設定します。
	ファイル名または正確な時刻でファイルをフィルタリングする場合に選択します。正確な時間によるフィルタリングは、設定された時点のビデオファイルを検索することができます。
	ビデオを逆再生します。 注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。

	<p>再生速度を 1/2、1/4、1/8、または 1/16 に設定します。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
	<p>フレームごとに逆再生を有効にします。それを 1 回クリックすると、1 つ前のフレームに戻ります。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
	<p>ビデオを再生または一時停止します。</p>
	<p>再生を停止します。</p>
	<p>フレーム単位で再生を有効にします。一度クリックすると、1 つのフレームだけ前に進みます。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
	<p>再生速度を 2 倍、4 倍、8 倍または 16 倍に設定します。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
	<p>マルチウィンドウモードで同期再生を開始する。同期再生用のファイルは、時間が重複している必要があります。詳細は、3.3 同期再生を参照してください。</p> <p>注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。</p>
	<p>オーディオのオン/オフを切り替えます。スライダーバーをドラッグして音量を調整します。キーボードの上または下のキーを押して、音量を増減することもできます。音量を最大 200%まで上げることができます。</p>
	<p>ウィンドウ分割を 1 * 1, 2 * 2, 3 * 3 または 4 * 4 に設定します。ウィンドウを選択し、ビデオファイルをダブルクリックして再生することができます。上記の図をマルチウィンドウ分割で参照してください。</p>
	<p>デジタルズームを有効にします。マウスを使用して黄色い四角形を描くと、その中の画像が拡大されます。ナビゲーションウィンドウが表示され、黄色の矩形をドラッグしてその位置を調整することができます。アイコンをもう一度クリックすると、デジタルズームが無効になります。</p> <p>また、マウスホイールを使用してズームインまたはズームアウトすることもできます。</p>

	再生中のビデオをキャプチャします。詳細は、第 3.4 章キャプチャと連続キャプチャを参照してください。
	再生中のビデオの連続キャプチャを開始します。詳細は、第 3.4 章キャプチャと連続キャプチャを参照してください。 注意: ハードウェアデコードを有効にした後は利用できません。
	他のすべてのウィンドウの上にウィンドウを保持するかどうかを選択します。
	再生ウィンドウを全画面モードで表示します。

または、再生ウィンドウを右クリックして再生コントロールメニューにアクセスすることもできます。

詳細は表 3.3 の右クリックメニューを参照してください。

注意:ビデオの再生を開始すると、VCA 情報はデフォルトで表示されません。

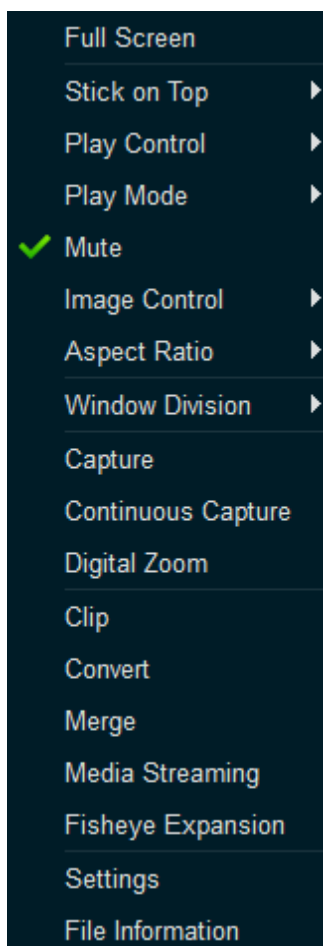


表 3.3 表示ウィンドウの右クリックメニュー説明

名称	説明
全画面表示	再生ウィンドウを全画面モードで表示します。
トップにスティックする	再生中にトップにスティックする
	他のすべてのウィンドウの上にウィン

	トップにスティックしない 常にトップにスティックする	ドウを保持するかどうかを選択します。
再生コントロール	<p>タイムスタンプによって検索: 時間を入力すると、その時間からビデオが再生されます。</p> <p>フレーム単位によって検索: 再生ポイントをフレームごとに正確に配置します。</p> <p>正確な時間によって検索: 設定された時刻のビデオを正確に再生して再生することができます。</p> <p>最初のフレーム: ビデオの最初のフレームに移動します。</p> <p>最後のフレーム: ビデオの最後のフレームに移動します。</p> <p>フレームをドロップする: フレームをドロップして CPU 使用量を減らします。</p> <p>モーションフロー: 機能を有効にして、流暢なビデオを取得します。特に動画に適しています。</p> <p>A-B セグメントを繰り返す: クリックしてこの機能を有効にし、タイムライン上の A と B ポイントをドラッグして位置を調整します。次に、設定された 2 つのポイント間でビデオを繰り返すことができます。</p> <p>その他の項目については、関連するアイコンの説明を参照してください。</p>	
再生モード	ファイルの再生モードをシングル、オーダー、リピート、またはすべてを繰り返すように設定します。	
ミュート	ファイルの音声をオフにします。	
画像コントロール	画像回転	再生中に画像を回転させます。
	色調整	彩度、色相、コントラスト、明るさのパラメータを設定します。
	透かしチェック	ビデオの透かし情報を確認してください。
	VCA 情報	VCA: VCA 情報を表示します。 注意: 注: アクセスするライブビューの VCA 情報を設定する必要があります。URL モードを使用します。詳細は、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。 モーション検出: ビデオのモーションをハイライト表示します。 注意: 注: アクセスするライブビューの VCA 情報を設定する必要があります。URL モードを使用します。詳細は、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。 POS テキストオーバーレイ: POS テキストを表示します。 注意: この機能はデバイスでサポートされている必要があり、デバイスは POS テキストオーバーレイで設定する必要があります。

	<p>ます。詳細は、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。</p> <p>温度: 検出された温度を表示します。 注意: この機能はサーマルカメラでのみ使用できます。詳しくは、サーマルカメラのユーザーマニュアルを参照してください。</p> <p>画像オーバーレイ: 画像を表示ウィンドウに表示します。 注意: 注: アクセスするライブビューの VCA 情報を設定する必要があります。URL モードを使用します。詳細は、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。</p> <p>火源: 発火源情報を表示します。 注意: この機能は、サーマルカメラでのみ使用できます。詳しくは、サーマルカメラのユーザーマニュアルを参照してください。</p>
アスペクト比	ビデオサイズを元のサイズ、4:3、16:9 または塗りつぶしウィンドウに設定します。また、ウィンドウサイズを 2 倍、元のサイズ、1/2 または 1/4 に設定することもできます。
ウィンドウ分割	1/4/9/16 ウィンドウ分割を設定します。
キャプチャ	再生中のビデオをキャプチャします。詳細は、第 3.4 章キャプチャと連続キャプチャを参照してください。
連続キャプチャ	再生中のビデオの連続キャプチャ。詳細は、第 3.4 章キャプチャと連続キャプチャを参照してください。 注意: ハードウェアデコードを有効にした後は利用できません。
デジタルズーム	ビデオのデジタルズームを有効にします。
クリップ	ファイルをクリップして、必要なビデオフットージを取得します。詳細は第 3.5 章ファイルのクリッピングを参照してください。 注意: URL モードまたはハードウェアデコード後のアクセスが有効になっているライブビューでは使用できません。
コンバート	ファイルまたはリアルタイムストリームを他の形式に変換することができます。 詳細な設定については、第 3.6 章ファイルの変換を参照してください。
合併	複数のファイル (> = 2) を 1 つの大きなファイルにマージします。詳細については、第 3.7 章ファイルのマージを参照してください。
メディアストリーミング	ローカル、ネットワーク、またはデスクトップのメディアストリーミングを作成し、URL を生成して、同じ LAN 内の他のコンピュータやデバイスとビデオを共有します。第 3.8 章メディアストリーミングを参照してください。

フィッシュアイ拡張	フィッシュアイ拡張モードでビデオファイルを再生します。第 3.9 章フィッシュアイ拡張を参照してください。
設定	基本、キャプチャ、ホットキーの設定など、プレーヤーの設定を行います。詳細な情報については、第 2.2 章 プレーヤーの設定を参照してください。
ファイル情報	ファイル名、ビデオの長さ、ファイルサイズ、ファイルの種類と解像度など、ファイルの詳細情報を確認します。

3.3 同期再生



目的:

時間が重複している場合は、ビデオファイルを同期して再生できます。


注意:


この機能は、URL モードまたはハードウェアデコード後のライブビューでは使用できません。

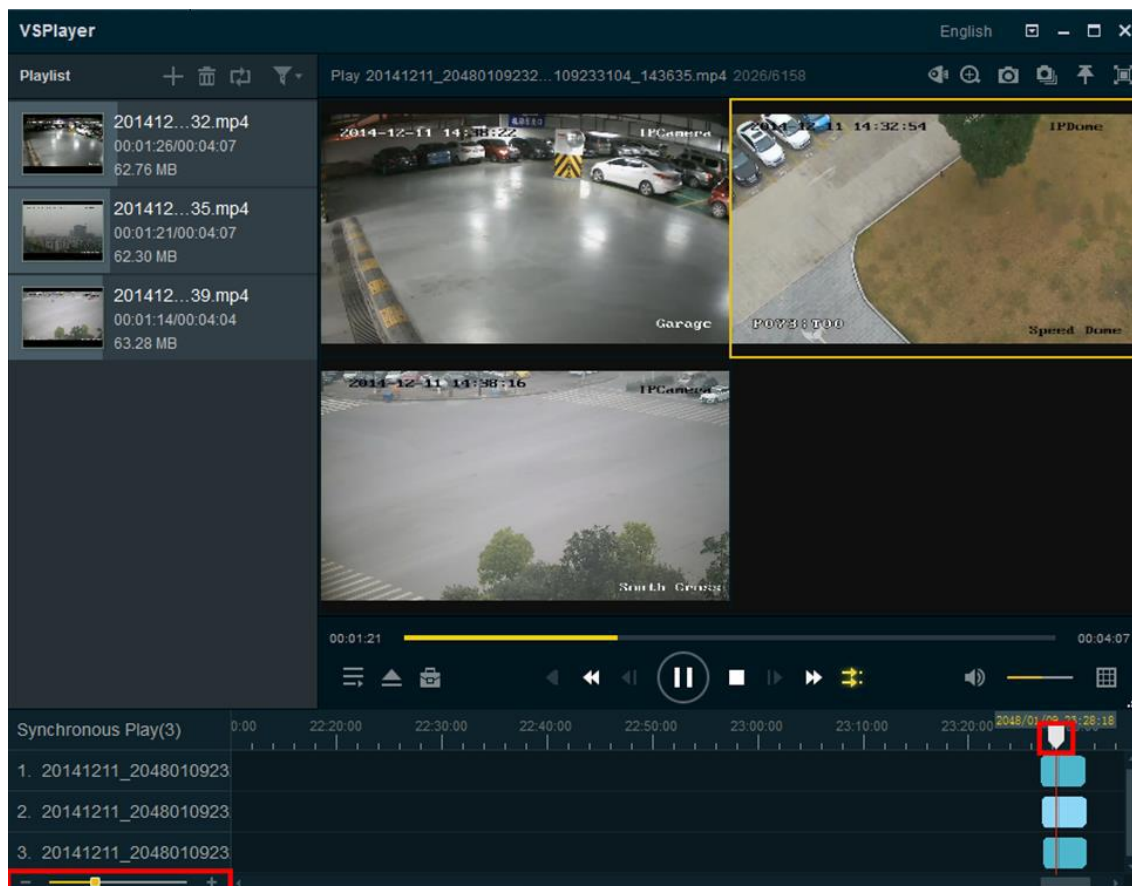
手順:

1.  をクリックし、マルチウィンドウ (2x2, 3x3 または 4x4) を選択します。
2. ウィンドウを選択し、ビデオファイルをダブルクリックして再生します。
3. 手順 2 を繰り返して、複数のビデオファイルの再生を開始します。
4.  をクリックして、同期再生を開始します。

注意: 同期再生用のファイルは、時間が重複している必要があります。

5. (オプション)  をドラッグすると、タイムラインバーを拡大または縮小できます。


 をクリックして、再生位置を調整できます。





3.4 キャプチャと連続キャプチャ

再生中のビデオの写真を撮って、ローカル PC に保存することができます。

キャプチャや連続キャプチャを含む 2 つの方法で画像をキャプチャできます。

キャプチャ:ビデオの再生中に  をクリックすると、ビデオの写真が撮影されます。キャプチャした画像の保存パスと画像フォーマットについては、第 2.2.2 章 キャプチャ設定を参照してください。

連続キャプチャ:ビデオの再生中に  をクリックすると、再生中のビデオの連続撮影が開始さ

れ、連続して撮影されます。  をクリックすると、連続キャプチャを手動で停止できます。そうしないと、キャプチャされたピクチャの数が設定された最大キャプチャ数に達した後に連続キャプチャが停止します。キャプチャされた画像の保存パスと関連するパラメータについては、第 2.2.2 章 キャプチャ設定を参照してください。

注意: ハードウェアデコードが有効になってからは、連続キャプチャはサポートされません。

3.5 ファイルのクリッピング

目的:



時間が重複している場合は、ビデオファイルを同期して再生できます。

注意:



- この機能は、URL モードまたはハードウェアデコード後のライブビューでは使用できません。
- 名前が 256 文字未満のメディアファイルのみ再生できます。




◆ 単一のビデオファイルをクリップする

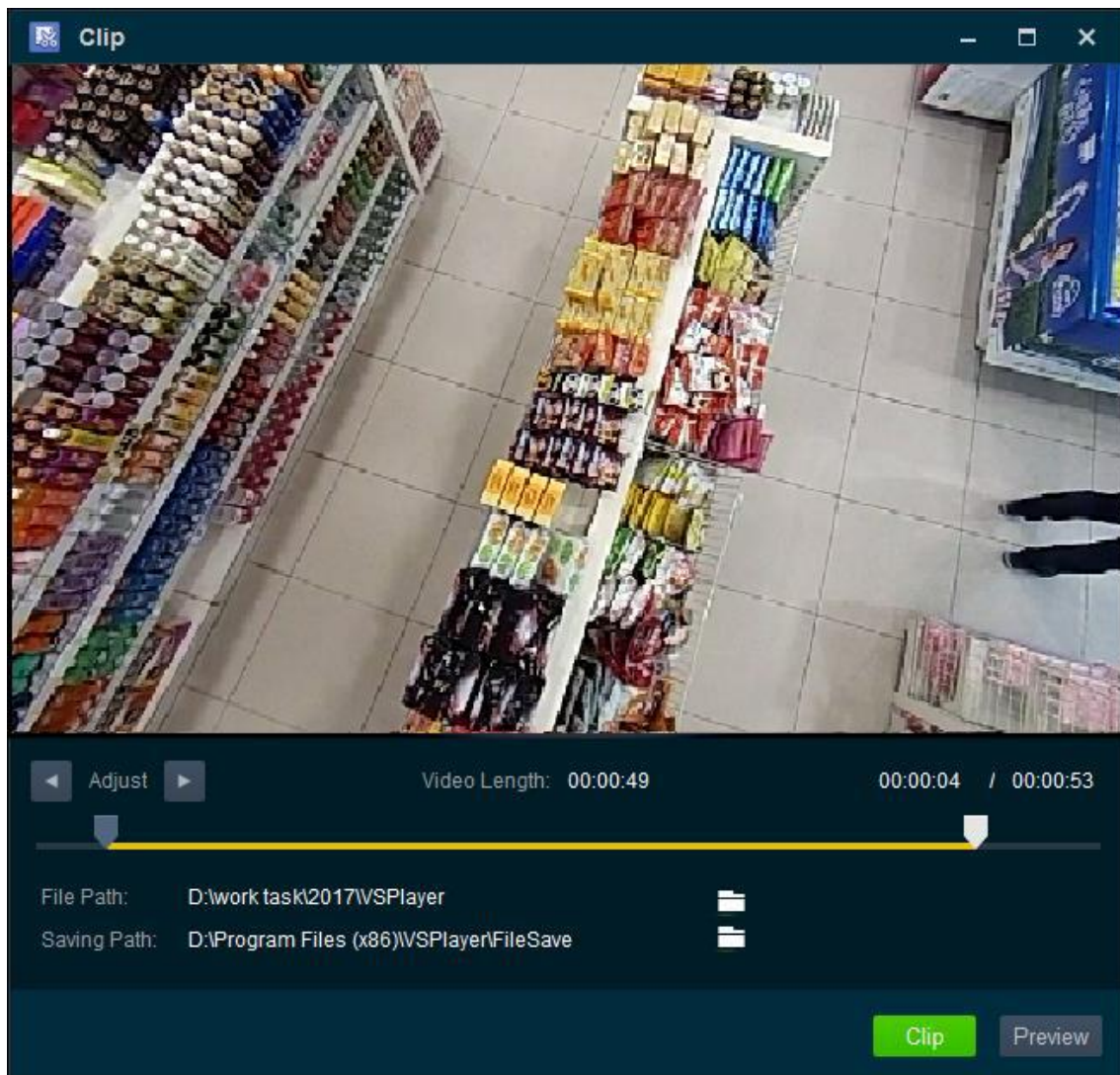
手順:


1. ビデオの再生中に、 をクリックして  を選択するか、再生ウィンドウの右クリックメニューでクリップを選択して、クリップインターフェイスに入ります。

注意:

 の下にあるクリップを選択するには、**ファイルを開く**をクリックするか、 をクリックしてクリッピングするビデオファイルを選択します。

2.  をドラッグして、ビデオフッタージの開始位置と終了位置を設定します。  と  をクリックして位置を調整することもできます。
ビデオの長さ、開始時間、終了時間が表示ウィンドウの下に表示されます。






3. (オプション)プレビューをクリックすると、クリップするビデオを表示できます。
4.  をクリックして、クリップされたファイルの保存パスとファイル名を設定します。
5. **クリップ** をクリックして、ファイルをクリップします。

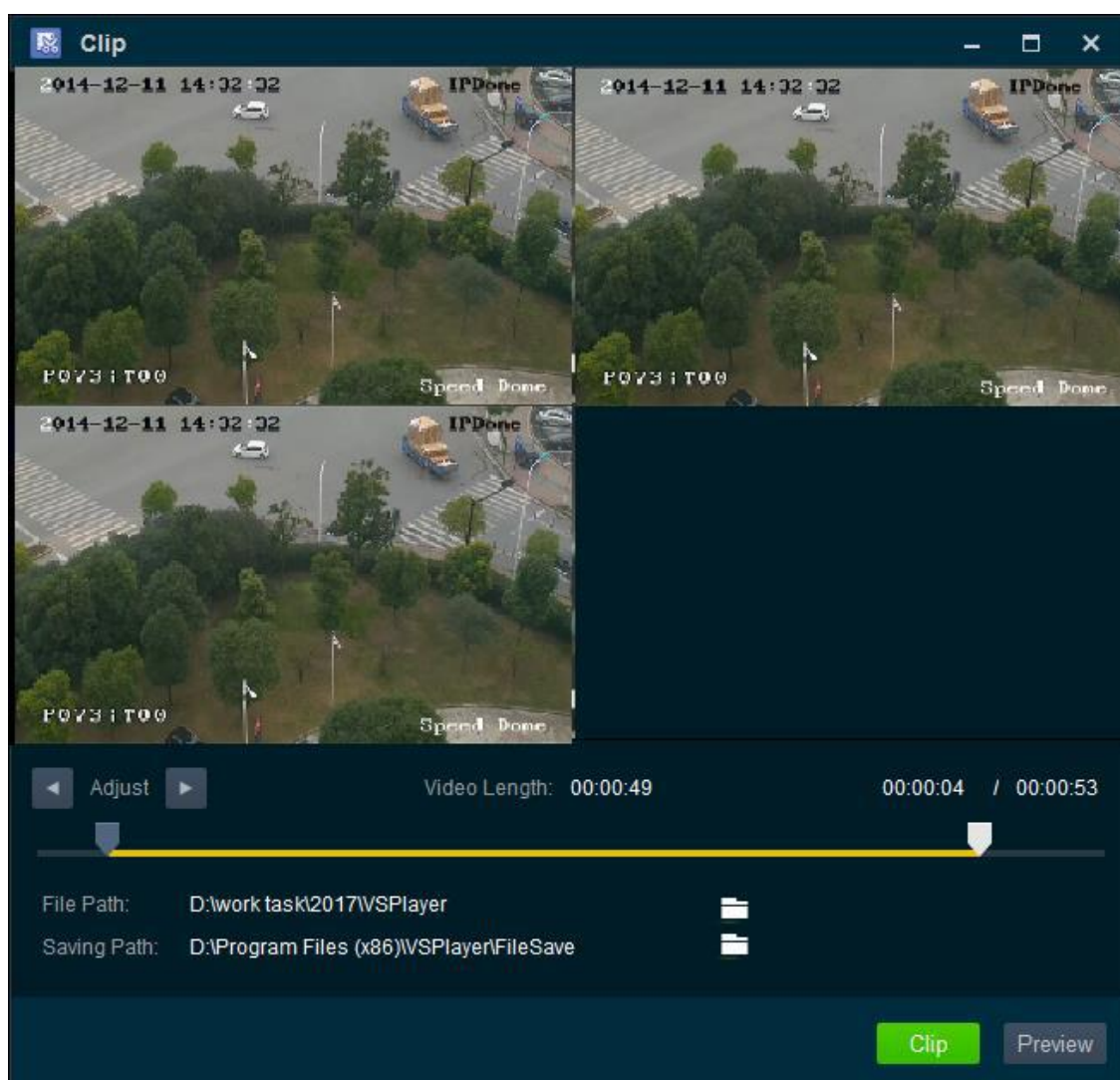
◆ 複数のビデオファイルをクリップする





注意: ビデオファイルは、時間が重複している必要があります。

手順:

1.  をクリックして  を選択して、クリップインターフェイスに入ります。
2.  をクリックして、クリッピングする複数のビデオファイルを選択します。

注意: 選択したファイルの数に応じてウィンドウ分割が変わります。



3.  をドラッグして、ビデオフッターの開始位置と終了位置を設定します。  と  をクリックして位置を調整することもできます。
ビデオの長さ、開始時間、終了時間が表示ウィンドウの下に表示されます。
4. (オプション)プレビューをクリックすると、クリップするビデオを表示できます。
5.  をクリックして、クリップされたファイルの保存パスとファイル名を設定します。
6. **クリップ**をクリックして、ファイルをクリップします。



3.6 ファイル形式の変換

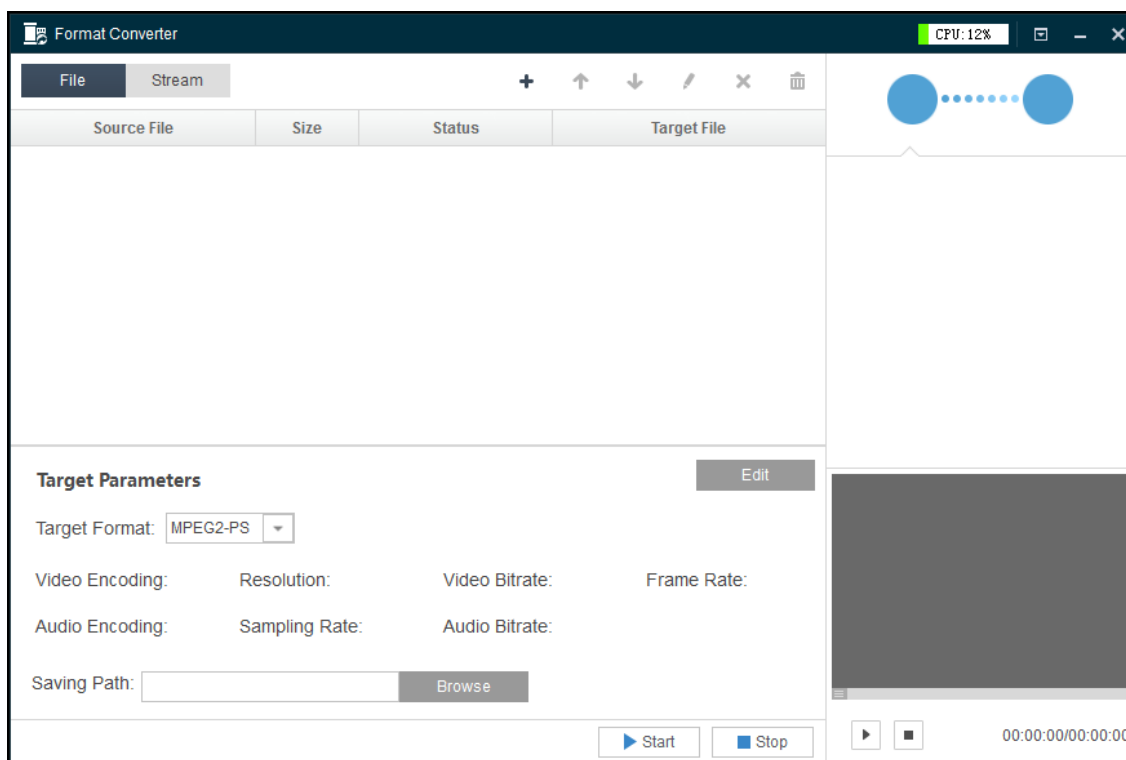
目的:

ファイルまたはリアルタイムストリームをターゲットフォーマットに変換することができ、フォーマット、エンコードタイプ、解像度、ビットレートなどのパラメータを設定することができます。

注意: 名前が 256 文字未満のメディアファイルのみ変換できます。

手順:

1.  をクリックして  を選択するか、再生ウィンドウの右クリックメニューで **変換** を選択すると、「フォーマットコンバータ」ウィンドウがポップアップします。



2. ファイルまたはリアルタイムストリームを追加します。
 - ファイルを追加するには、「ファイル」タブを選択し、**+** をクリックして「単一追加」を選択してファイルを 1 つ追加するか、「バッチ追加」をクリックしてバッチでファイルを追加します。
 - リアルタイムストリームを追加するには、「ストリーム」タブを選択し、クリックしてリアルタイムストリームを追加します。

New Task - Real-Time Stream

Please input the information of the real-time stream for converting and specify the saving path.

IP Address: 0.0.0.0 Port: 8000

Channel: 1 Stream Type: Main Stream

User Name: admin Password: ●●●●●●


Test

Status:
Format:
Video Format:
Audio Format:

Package Size: 100 MB

Saving Path: C:\

Next Cancel

フォーマット変換の詳細な設定については、フォーマットコンバータのユーザーマニュアルを参照してください( をクリックし、フォーマットコンバータウィンドウでユーザーマニュアルを選択してください)。

注意:ビデオファイルを H.265 形式から他の形式に変換できますが、他の形式のビデオファイルを H.265 に変換することはできません。

3.7 ファイルの合併



目的:

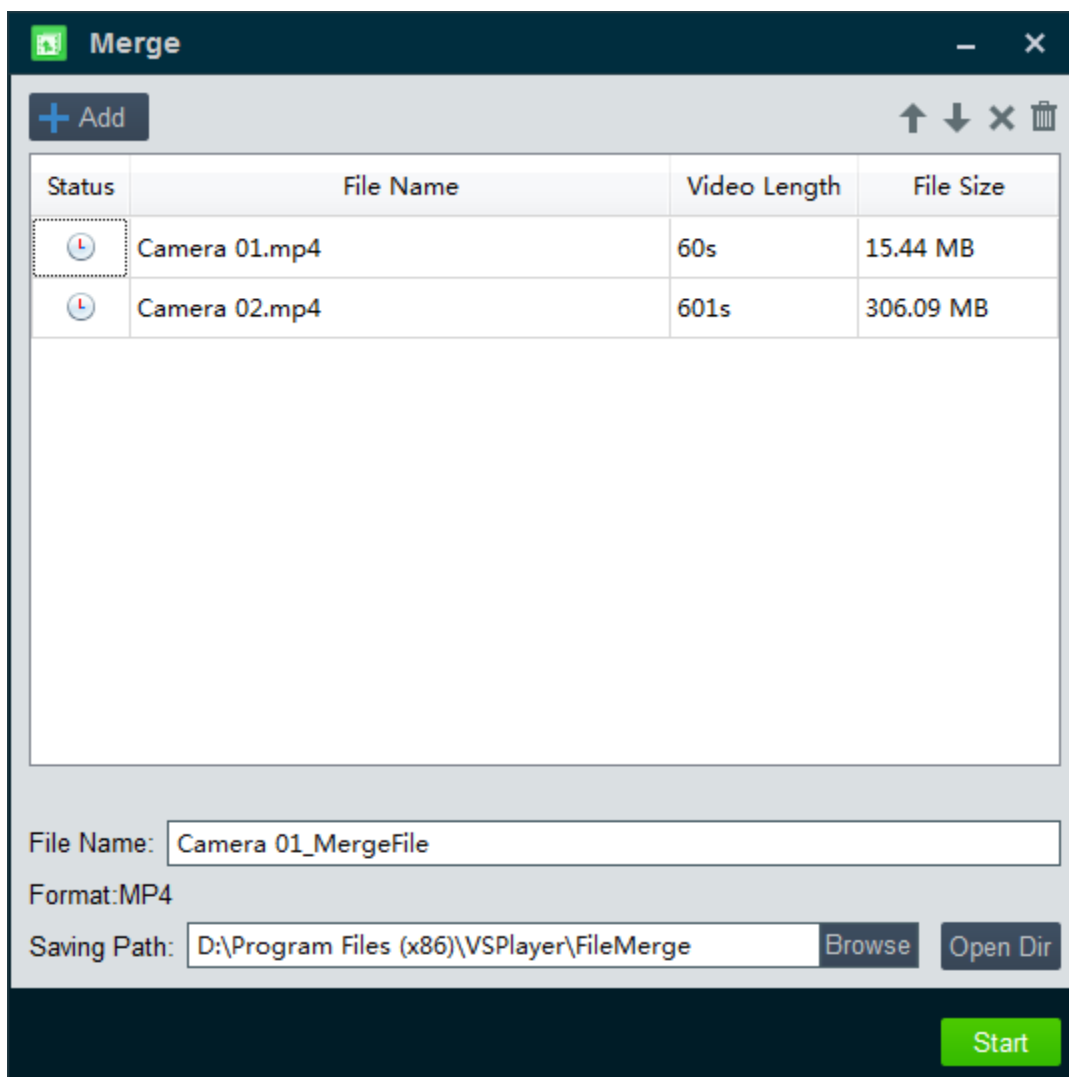
複数のファイルを 1 つの大きなファイルにマージして、必要なファイルをすべて連続して表示することができます。

注意:





- この機能は、URL モードでアクセスするライブビューではサポートされていません。
- 名前が 256 文字未満のメディアファイルのみがマージできます。

手順:

1.  をクリックして  を選択するか、再生ウィンドウの右クリックメニューで「マージ」を選択してマージページに入ります。
2. **追加** をクリックして、ローカル PC からファイルを選択します。



3. (オプション) 選択したファイルを編集します。

-
- ファイルを 1 つ選択し、またはをクリックしてファイルを上下に移動し、マージ位置を調整します。
 - 1 つのファイルを選択し、をクリックしてマージリストから削除します。
 - をクリックして、「無効なファイルのクリア」または「ファイルリストのクリア」を選択します。
4. マージしたファイルのファイル名を入力します。
 5. **参照**をクリックして、マージされたファイルの保存パスとファイル名を設定します。
 6. **ディレクトリを開く**をクリックすると、そのディレクトリを開くことができます。
マージ処理中に**停止**をクリックできます。

3.8 メディアストリーミング

目的:



ローカル、ネットワーク、またはデスクトップのメディアストリーミングタスクを作成し、URL を生成してローカルファイルのビデオ、デバイスのライブビュー、またはデスクトップを同じ LAN 内の他のユーザーと共有することができます。

注意:

名前が 256 文字未満のメディアファイルのみがメディアストリーミングをサポートします。

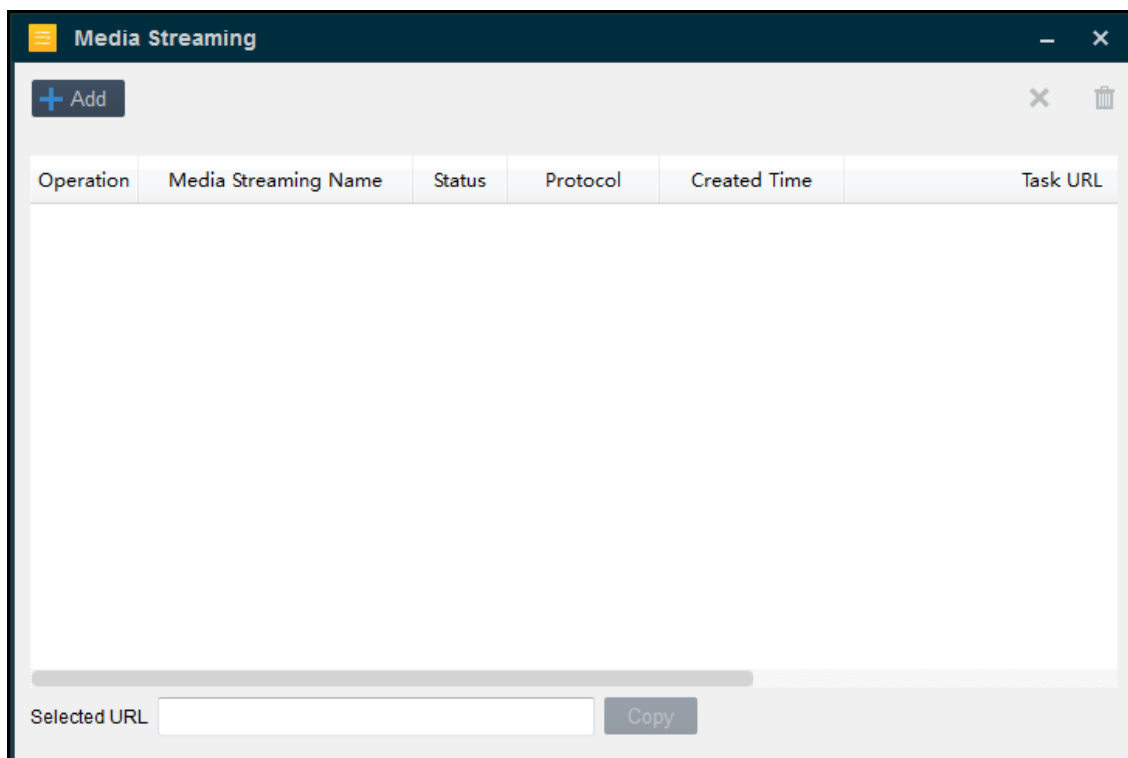
手順:

1. 表示ウィンドウ領域を右クリックし、メディアストリーミングを選択してメディアストリーミングツールを開きます。

または、 をクリックして  を選択して、メディアストリーミングツールを開くこともできます。

注意:

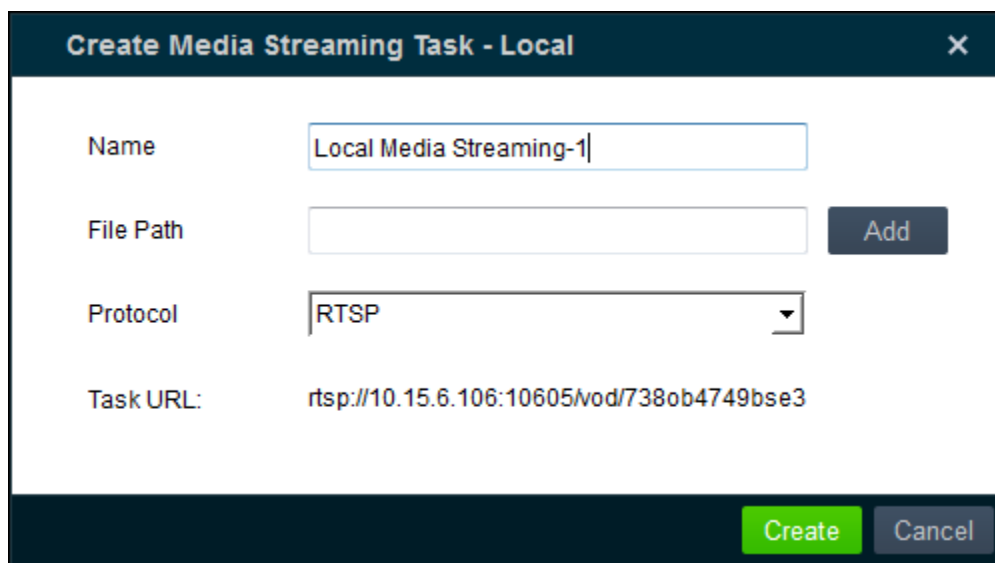
メディアストリーミングツールは、メディアストリーミングの全過程で稼働し続ける必要があります。



2. 追加ボタンをクリックし、ローカル、ネットワーク、またはデスクトップとしてメディアストリーミングタイプを選択します。

- ローカル: ローカルのビデオ/オーディオファイルを他の人と共有します。

ローカルビデオ/オーディオファイルのメディアストリーミングを作成するには:



- 1) 「名前」フィールドにメディアストリーミング名を必要に応じて入力します。
- 2) **追加**ボタンをクリックして、ローカル PC からビデオ/オーディオファイルを参照して選択します。
- 3) プロトコルタイプを RTSP、HLS、または RTMP として選択します。

注意:

表 3.4 に、RTSP、HLS、および RTMP プロトコルでサポートされているビデオ/オーディオファイルのエンコード形式を示します。

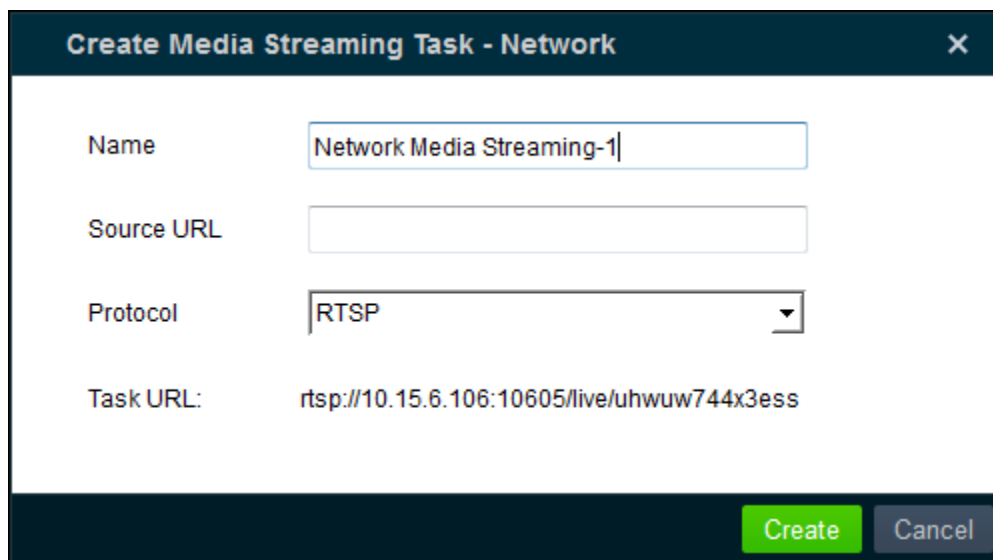
表 3.4 サポートされているエンコーディングフォーマット

プロトコル パッケージ形式	RTSP	HLS	RTMP
PS	ビデオ: H.264、H.265; オーディオ: G711a、G711u、 G722、AAC、 MPEG;	ビデオ: H.264; オーディオ: AAC;	ビデオ: H.264; オーディオ: G711a、G711u、 AAC;
RTP	ビデオ: H.264、H.265; オーディオ: G711a、G711u、 G722、AAC;	ビデオ: H.264; オーディオ: AAC;	ビデオ: H.264; オーディオ: G711a、G711u、 AAC;
TS	ビデオ: H.264; オーディオ: G711a、G711u、	ビデオ: H.264; オーディオ:	ビデオ: H.264; オーディオ:

	G722、AAC;	AAC;	G711a、G711u、 G722、AAC;
--	-----------	------	---------------------------

4) **作成**をクリックしてタスクを作成し、メディアストリーミング URL を生成します。

- **ネットワーク: デバイスのライブビューを他のユーザーと共有します。**
 デバイスのライブビューのメディアストリーミングを作成します。



- 1) 名前フィールドにメディアストリーミング名を必要に応じて入力します。
- 2) ソース URL フィールドを入力し、デバイスのアドレスを入力します。

注意:

ソース URL は、ユーザー名、デバイスのパスワード、および対応するプロトコルを持つ有効な URL アドレスである必要があります。

たとえば、ソース URL は次のようになります。

`rtsp://10.16.6.113:8487 / live / ubp2195t78674q6`

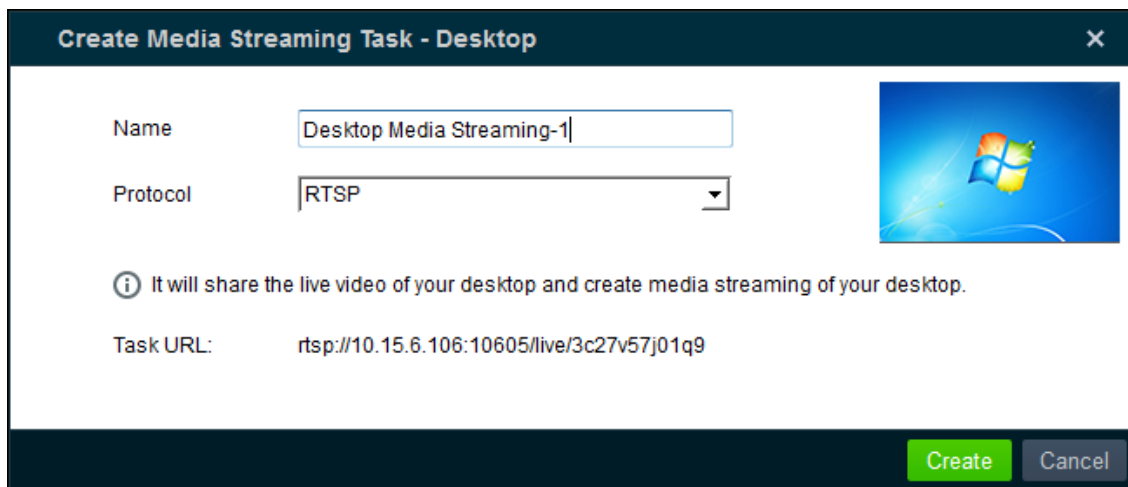
- 3) プロトコルタイプを RTSP、HLS、または RTMP として選択します。

注意:

表 3.4 に、RTSP、HLS、および RTMP プロトコルでサポートされているビデオ/オーディオファイルのエンコード形式を示します。

- 4) **作成**をクリックしてタスクを作成し、メディアストリーミング URL を生成します。

- **デスクトップ: デスクトップのライブイメージを他の人と共有します。**
 現在のデスクトップのメディアストリーミングを作成します。

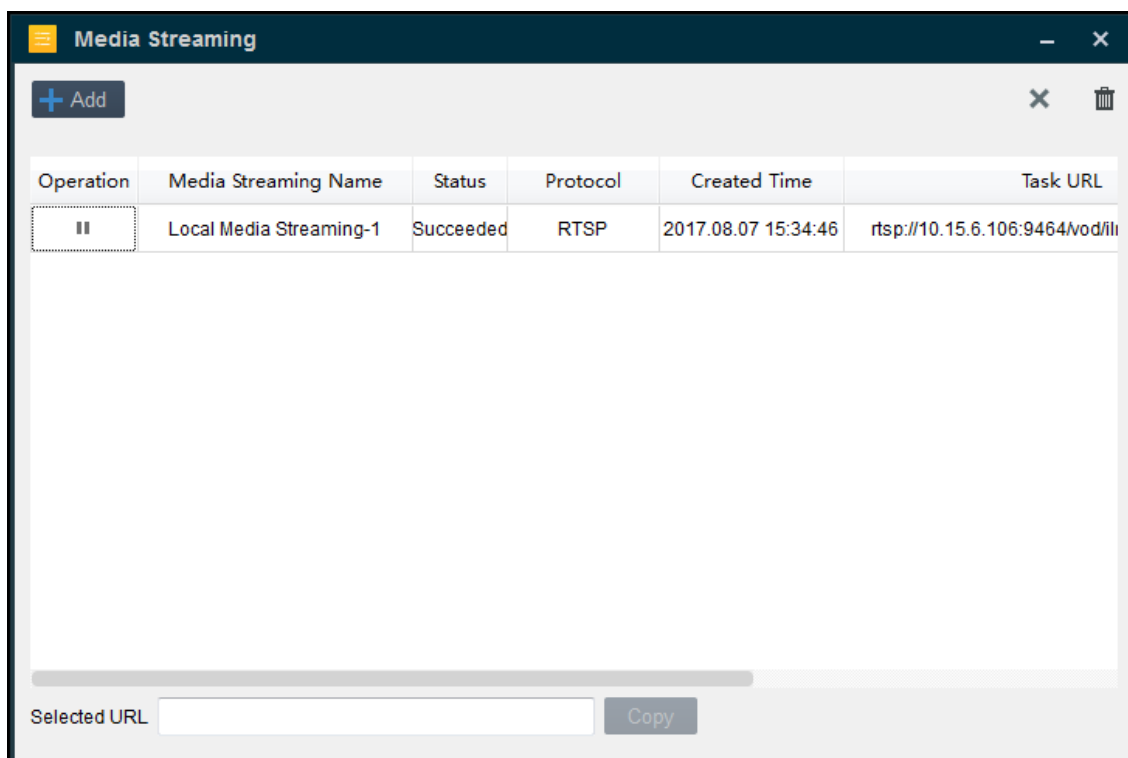


- 1) 「名前」フィールドにメディアストリーミング名を必要に応じて入力します。
- 2) プロトコルタイプを RTSP、HLS、または RTMP として選択します。


注意:

表 3.4 に、RTSP、HLS、および RTMP プロトコルでサポートされているビデオ/オーディオファイルのエンコード形式を示します。

- 3) **作成**をクリックしてタスクを作成し、メディアストリーミング URL を生成します。
名前、ステータス、プロトコルタイプ、作成時間、URL などの詳細を含む作成されたタスクは、次のようにメディアストリーミングリストに表示されます。



3. (オプション)タスクを選択し、**×** をクリックしてタスクを削除します。


4. (オプション)タスクを選択し、 をクリックしてすべてのタスクをクリアします。または、タスクを右クリックして、「クリア」を選択すると、すべてのタスクがクリアされます。
5. (オプション)状態が「成功した」であるメディアストリーミングタスクを選択し、**コピー**をクリックしてその URL をコピーします。

他の人に URL を送信して、ローカルビデオ、デバイスのライブビュー、またはデスクトップビューを共有することができます。他のユーザーは、メディアストリーミング機能をサポートしているプレーヤーで URL を開いて、共有ビデオを表示することができます。

3.9 フィッシュアイ拡張

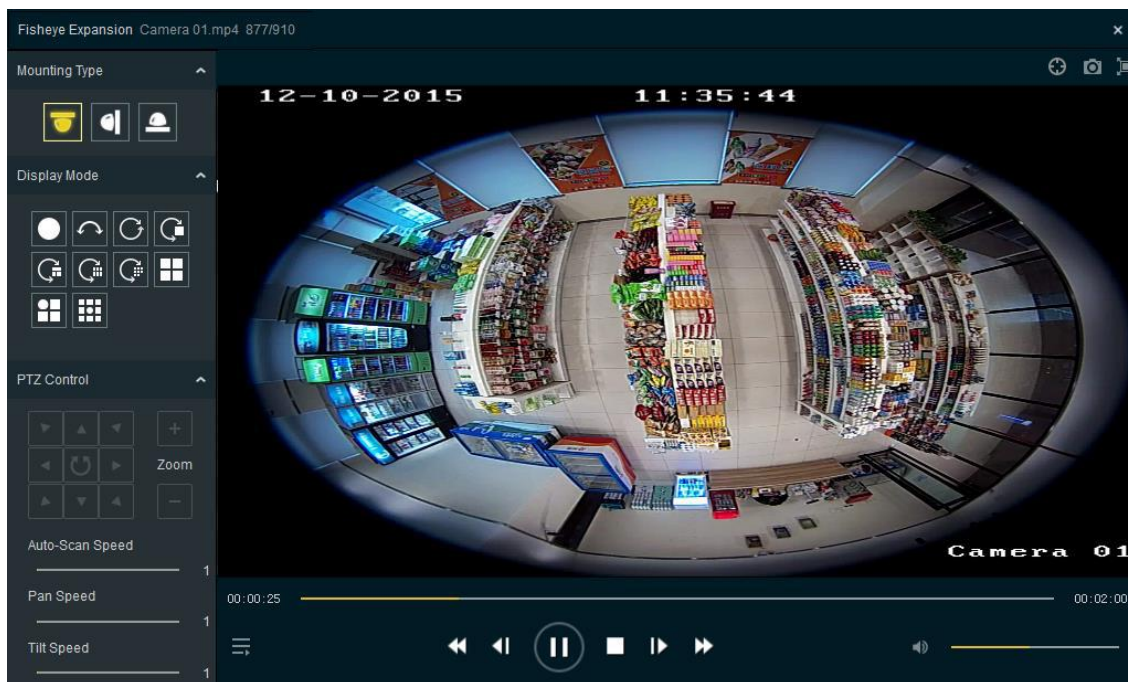
目的:

フィッシュアイカメラのビデオファイルをフィッシュアイでの拡張モードで再生できます。

フィッシュアイカメラのビデオファイルを再生するときは、 ボタンをクリックしてフィッシュアイレンズ拡張に入ることができます。または、表示ウィンドウ領域を右クリックして「フィッシュアイレンズ拡張」を選択すると、「フィッシュアイレンズ拡張」ページに入ることができます。

注意:

- この機能は、URL モードまたはハードウェアデコード後にアクセス可能なビューでは使用できません。
- ビデオファイルは 4K より大きくする必要があります。
- フィッシュアイレンズの再生性能がメモリとビデオカードの性能の限界を超えると、画像は表示されません。



プレイコントロールボタンの紹介については、表 3.2 を参照してください。

手順:

1. 取り付けタイプを選択します。
お使いのカメラに採用している実際の取り付け方法に従って、天井取り付け、壁取り付け、またはテーブル取り付けを選択してください。
2. 表示モードを選択します。
ライブビューウィンドウのレイアウトのモードを選択することができます。
 - フィッシュアイビュー: フィッシュアイモードでは、カメラの広角全景が表示されます。こ

のビューモードは魚眼レンズの視野に近似するため、フィッシュアイと呼ばれます。レンズは、画像内の物体の視点および角度を歪ませながら、広い領域の曲線画像を生成します。

フィッシュアイビュー



- パノラマ/デュアル-180° パノラマビュー: パノラマビューモードでは、いくつかの較正方法によって歪んだ魚眼画像が通常の透視画像に変換されます。

パノラマビュー



デュアル-180° パノラマビュー



- PTZビュー:PTZビューは、フィッシュアイビューまたはパノラマビューの定義された領域の拡大図で、e-PTZ と呼ばれる電子 PTZ 機能をサポートしています。

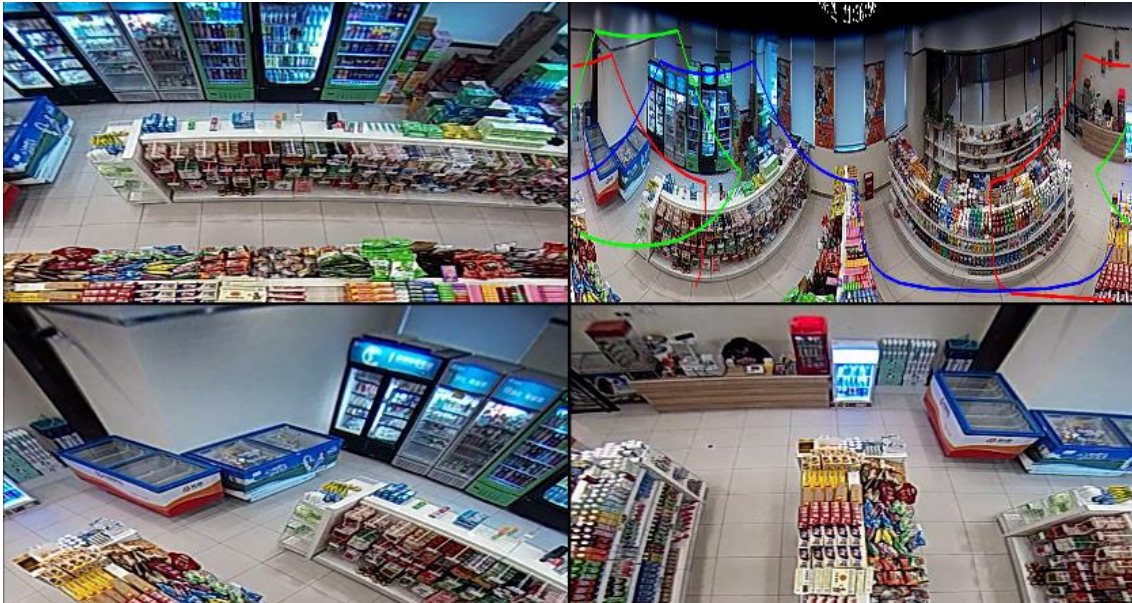
注意:

各 PTZ ビューは、フィッシュアイビューとパノラマビューに、色が異なる特定のナビゲーションエリアでマークされています。フィッシュアイビューまたはパノラマビューのナビゲーション領域をドラッグして PTZ ビューを調整するか、または PTZ ビューをドラッグしてビューを希望の角度に調整できます。

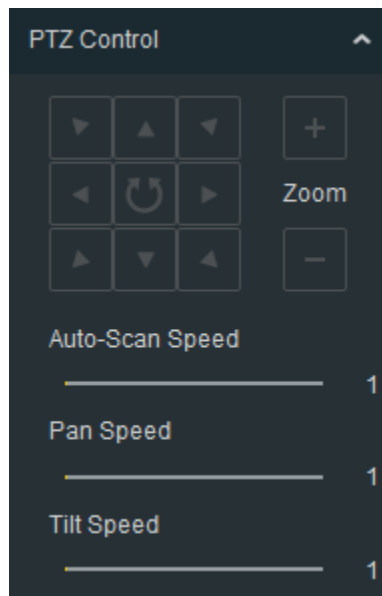
フィッシュアイ+ 3PTZ ビュー



パノラマ+ 3PTZ




3. (オプション)PTZ ビューでは、PTZ コントロールパネルで PTZ コントロールを実行できます。




- 矢印ボタンをクリックして画像を調整します。
- ビューを拡大または縮小するには、**+** または **-** をクリックします。
- **🔄** をクリックして自動スキャンを開始します。
- PTZ ビューでドラッグし、マウスホイールをスクロールして PTZ の動きを実現します。
- A をドラッグすると、PTZ 制御のための自動スキャン速度、パン速度、およびチルド速

度が設定されます。

4.  をクリックして、「円心キャリブレーション」ページに入ります。魚眼レンズの中心を校正し、魚眼レンズの拡大をより正確にします。



- 1) 魚眼レンズの円上にある  をドラッグして、魚眼レンズに近い赤い円を調整できます。
- 2) OK をクリックして校正を保存します。

3.10 PanuVo モード

目的:

PanuVo カメラのビデオファイルを PanuVo モードで再生できます。


オリジナルモードと PTZ モードの 2 つのモードがあります

- **オリジナルモード:**ビデオファイルは元のモードで再生されます。表示ウィンドウには 8 つの画像が表示されます。
- **PTZ モード:**ビデオファイルは PTZ モードで再生されます。完成した画像を表示ウィンドウで見ることができます。

注意:

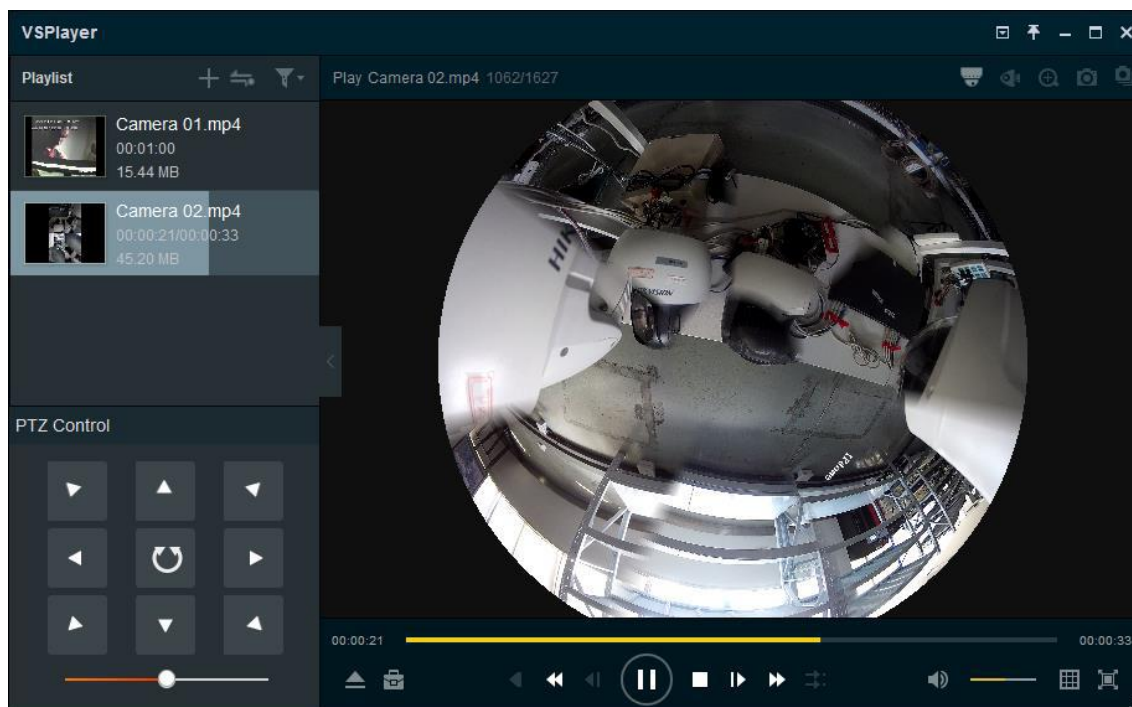
Panuvo モードは、ビデオカードでサポートされている必要があります。ビデオカードの最小要件: Intel:グラフィックス HD 4600/4700 以上、または NVIDIA:GTX970 以上。ビデオカードの推奨要件:I7 と 8G メモリ、グラフィック HD 4600 と GTX 970


手順:



1.  をクリックして、PanuVo カメラのビデオファイルをソフトウェアに追加します。
2. 再生するビデオファイルをダブルクリックします。

注意:

デフォルトでは、PanuVo カメラのビデオファイルは PTZ モードで再生されます。



3. PTZ コントロールパネルで PTZ コントロールを行います。
 - 矢印ボタンをクリックして画像を調整します。
 -  をクリックして、自動スキャンを開始します。

-  をドラッグして自動スキャン速度を設定します。
4. (オプション)元のモードに切り替えます。
- 1) 表示ウィンドウの右上隅にある  をクリックします。
 - 2) 元のモードに切り替えるには、元のモードを選択します。

